

演題

# 棚田が語る歴史と未来

- 日時 2009年12月12日(土) 14:00~17:00
- 会場 早稲田大学 文学部 36号館681教室(戸山キャンパス)  
最寄り駅 地下鉄東京メトロ(東西線)「早稲田駅」2番出口下車 徒歩約5分  
JR山手線「高田馬場」下車 徒歩約20分
- 講師 湯浅 治久 氏(市立市川歴史博物館学芸員、棚田学会会員)  
松原 誠司 氏(芝浦工業大学柏中学高等学校教諭、棚田学会会員)  
吉川 國男 氏(NPO法人野外調査研究所理事長、棚田学会会員)
- 参加費 500円(資料代)、但し棚田学会員、学生は無料
- 懇親会 引き続き同会場で行います。ご参加ください。17:00~18:00 会費500円



大山千枚田(千葉県鴨川市) 北鷯島の車田植え(新潟県佐渡市) 寺坂の棚田(埼玉県横瀬町)

「10周年記念誌『ニッポンの棚田』は幸いにも好評をいただいております。今回、ご寄稿をいただいた方のなかで、特に3名の方に直接お話しをいただく機会を設けました。大山千枚田の歴史を明らかにされた湯浅さんは、さらに房総半島全体を視野に入れて、お話しくださいます。松原さんは、佐渡と飛騨に残る車田の歴史を追って鎌倉時代へ考察を深めます。吉川さんは秩父寺坂の棚田の事例から都市近郊の棚田の保全と活用を視野に入れて今後の課題を探ります。棚田の悠久の歴史を思い、明日への展望を語り合いましょう。」

## お話の内容

3人の講演の方から次のようなテーマをいただきました。  
湯浅治久氏「房総中世村落論と棚田研究—その可能性を求めて—」、  
松原誠司氏「車田と農業儀礼」、  
吉川國男氏「棚田構築の歴史と活用—秩父寺坂の例—」。  
一人30分の報告と15分の討論をお願いしております。

主催 棚田学会 協賛 (株)損害保険ジャパン

裏面に地図があります。